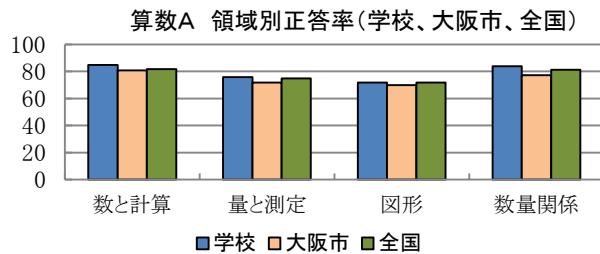


【算数】

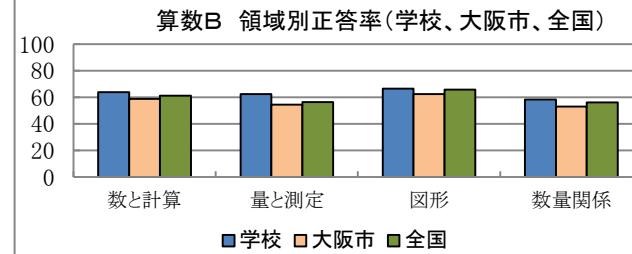
【結果の概要】

「図形」領域で、全国平均を0.1%下回ったものの、それ以外の領域ではすべて大阪市・全国平均を上回っている。記述式の回答にやや正答率が低くなっていることから、「書く力」の不十分さが影響しているものと考えられる。「算数の勉強が好き」「算数の授業がよくわかる」は、いずれも「当てはまる」とする回答が、大阪市・全国平均を上回っている。算数で学習したことを生活の中で生かそうと考えたり、公式やきまりのわけを理解しようとすることについても肯定的な回答の割合が高い。

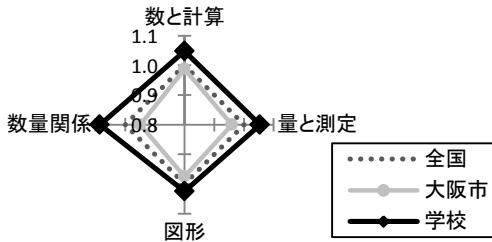
A 問題		平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	数と計算	81	84.7	80.8
	量と測定	3	75.7	71.8
	図形	4	71.7	70.0
	数量関係	3	83.8	77.2



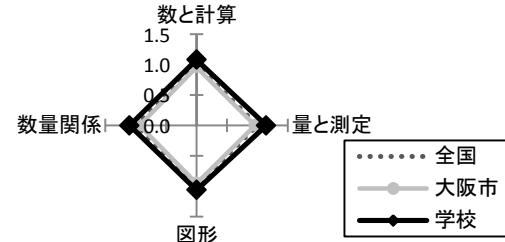
B 問題		平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	数と計算	8	63.8	58.9
	量と測定	5	62.4	54.4
	図形	1	66.4	62.5
	数量関係	5	58.3	52.9



算数A 領域別正答率(対全国比)

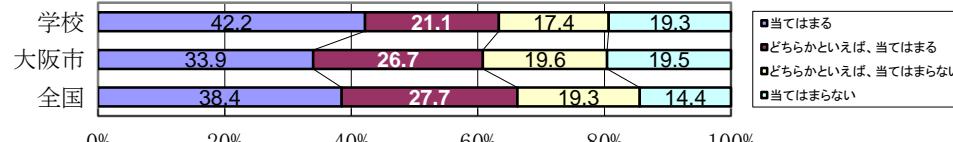


算数B 領域別正答率(対全国比)

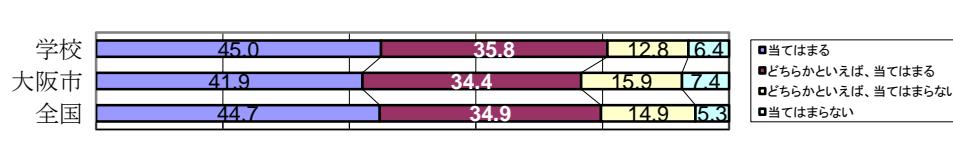


算数に関する「児童質問紙」

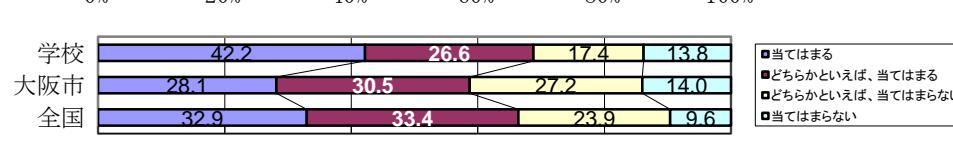
62
算数の勉強は好きですか



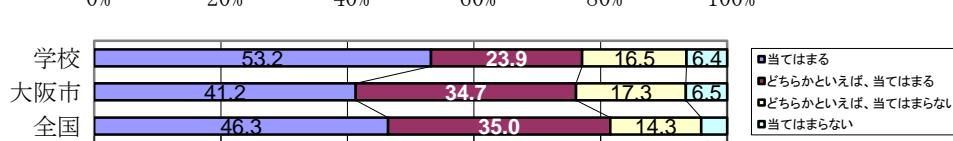
64
算数の授業の内容はよく分かりますか



67
算数の授業で学習したこと普段の生活の中で活用できないか考えますか



70
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか



【成果と課題】

朝のチャレンジタイム等での計算練習の積み重ねにより、小数のひき算、分数のたし算、ひき算とかけ算の混合した計算など、ほとんどの平均正答率が9割を上回った。しかし、直径から円周を求めたり、コンパスを使った平行四辺形の作図でつまずきが見られた。「図形」領域における作図と記述式の回答に抵抗をなくしていくための指導方法を追究していく。

【今後の取組】

- 計算練習の積み重ねを今後も継続していく。
- 作図に用いられている図形の約束や性質について理解を深めていくようとする。
- 他の教科と関連を図りながら、ノート指導などを通して「書く力」の育成に努めていく。
- 家庭と連携しながら予習・復習の習慣化を図っていく。